

# 平成 30 年度 病院事業決算状況

都道府県名 静岡県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	静岡がんセンター	2	御前崎市	市立御前崎総合病院	20
-	想定企業会計（静岡県立病院機構）	3	菊川市	菊川市立総合病院	21
静岡市	静岡市立静岡病院	4	森町	公立森町病院	22
静岡市	静岡市立清水病院	5	共立蒲原総合病院組合（事業会計分）	共立蒲原総合病院	23
浜松市	浜松医療センター	6	榛原総合病院組合（事業会計分）	榛原総合病院	24
浜松市	浜松市リハビリテーション病院	7	一部事務組合下田メディカルセンター（事業会計分）	下田メディカルセンター	25
浜松市	浜松市国民健康保険佐久間病院	8	掛川市・袋井市病院企業団	掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター	26
沼津市	市立病院	9			
富士宮市	富士宮市立病院	10			
伊東市	伊東市民病院	11			
島田市	島田市民病院	12			
富士市	中央病院	13			
磐田市	磐田市立総合病院	14			
焼津市	焼津市立総合病院	15			
藤枝市	藤枝市立総合病院	16			
袋井市	袋井市民病院	17			
袋井市	聖隷袋井市民病院	18			
湖西市	市立湖西病院	19			

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	
				病院名	静岡がんセンター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	86,665 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	が	特	
診療科数	37	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	615	88.5	89.1	89.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	615	88.5	89.1	89.0
平均在院日数（一般病床のみ）		12.2	12.1	11.8

設立団体の状況		
人口（人）	3,700,305	
決算規模（千円）	1,113,256,473	
標準財政規模（千円）	708,305,914	
財政力指数	0.72460	
経常収支比率（%）	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	13.4
	将来負担比率（%）	240.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	86.0
修正医業収支金額（千円）	27,303,182

損益計算書（千円・%）					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	35,124,273				
1 経常収益	35,117,072				
(1) 医業収益	27,437,595				
入院収益	13,712,483				
外来収益	12,949,756				
診療収入計	26,662,239				
その他医業収益	775,356				
(うち他会計負担金)	134,413				
(2) 医業外収益	7,679,477				
(うち国・都道府県補助金)	31,407				
(うち他会計補助・負担金)	6,460,150				
(うち長期前受金戻入)	225,962				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	7,201				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	35,250,277				
2 経常費用	35,186,302				
(1) 医業費用	31,755,148				
職員給与費	10,540,954	38.4	56.0	49.8	
材料費	11,025,547	40.2	24.1	28.0	
(うち薬品費)	8,716,558	31.8	12.6	14.8	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,308,989	8.4	11.1	12.8	
減価償却費	2,857,609	10.4	9.2	8.3	
経費	6,806,791	24.8	23.2	20.7	
(うち委託料)	3,920,570	14.3	11.3	11.4	
研究研修費	504,514				
資産減耗費	19,733				
(2) 医業外費用	3,431,154				
(うち支払利息)	616,012	2.2	1.6	1.4	
(3) 特別損失	63,975				
損益					
経常損益	-69,230				
純損益	-126,004				
累積欠損金	3,500,050				
経常収支比率	99.8		98.2	99.5	
医業収支比率	86.4		88.3	92.8	
他会計繰入金対経常収益比率	18.8		12.5	9.1	
他会計繰入金対医業収益比率	24.0		14.6	10.3	
他会計繰入金対総収益比率	18.8		12.5	9.0	
実質収益対経常費用比率	81.1		86.0	90.4	

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	67,741,594
1 固定資産	50,527,863
(1) 有形固定資産	47,400,612
(2) 無形固定資産	221,210
(3) 投資その他の資産	2,906,041
2 流動資産	17,213,731
(1) 現金及び預金	10,190,344
(2) 未収金及び未収収益	4,610,576
(3) 貸倒引当金（ ）	89,072
(4) 貯蔵品	480,615
3 繰延資産	-
負債合計	59,791,543
1 固定負債	48,341,184
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	45,422,221
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,918,963
(7) リース債務	-
2 流動負債	9,193,946
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,026,452
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	702,096
(6) リース債務	406
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,289,531
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,256,413
(1) 長期前受金	5,797,610
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	3,541,197
資本合計	7,950,051
1 資本金	10,994,403
2 剰余金	-3,044,352
(1) 資本剰余金	455,698
(2) 利益剰余金	-3,500,050
負債・資本合計	67,741,594
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	6,588,910	6,594,563
資本勘定繰入	2,139,991	169,931
計	8,728,901	6,764,494

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	12.8
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	静岡県
		市町村・組合名	
		病院名	想定企業会計(静岡県立病院機構)
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	3,700,305	
決算規模(千円)	1,113,256,473	
標準財政規模(千円)	708,305,914	
財政力指数	0.72460	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.4
	将来負担比率(%)	240.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	200,682			
1 経常収益	200,682			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	200,682			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	200,682			
2 経常費用	200,682			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	49.8
材料費	-	-	24.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.8
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.3	11.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	200,682			
(うち支払利息)	200,682	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	99.5
医業収支比率	-		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	90.4

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	静岡県
		市町村・組合名	静岡市
		病院名	静岡市立静岡病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	704,989	
決算規模(千円)	304,712,112	
標準財政規模(千円)	188,209,181	
財政力指数	0.90	
経常収支比率(%)	92.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.7
	将来負担比率(%)	48.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	49.8
材料費	-	-	24.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.8
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.3	11.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		98.2	99.5
医業収支比率	-		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	-		86.0	90.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度)	都道府県名	静岡県
	市町村・組合名	静岡市
	病院名	静岡市立清水病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	463	77.9	75.2	71.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	463	77.9	75.2	71.9
平均在院日数（一般病床のみ）		11.4	11.9	11.9

設立団体の状況		
人口（人）	704,989	
決算規模（千円）	304,712,112	
標準財政規模（千円）	188,209,181	
財政力指数	0.90	
経常収支比率（%）	92.6	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	6.7
	将来負担比率（%）	48.8

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	35,997 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 災地 輪
診療科数	26	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	76.2
修正医業収支金額（千円）	9,302,738

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,943,554			
1 経常収益	12,943,554			
(1) 医業収益	9,913,006			
入院収益	6,539,977			
外来収益	2,454,673			
診療収入計	8,994,650			
その他医業収益	918,356			
(うち他会計負担金)	610,268			
(2) 医業外収益	3,030,548			
(うち国・都道府県補助金)	5,614			
(うち他会計補助・負担金)	2,807,999			
(うち長期前受金戻入)	26,991			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,800,811			
2 経常費用	12,800,811			
(1) 医業費用	12,216,015			
職員給与費	5,869,191	59.2	56.0	54.1
材料費	2,384,694	24.1	24.1	26.3
(うち薬品費)	1,393,424	14.1	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	991,270	10.0	11.1	12.3
減価償却費	792,342	8.0	9.2	8.3
経費	3,098,021	31.3	23.2	19.0
(うち委託料)	1,240,848	12.5	11.3	9.1
研究研修費	58,738			
資産減耗費	13,029			
(2) 医業外費用	584,796			
(うち支払利息)	52,425	0.5	1.6	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	142,743			
純損益	142,743			
累積欠損金	1,314,566			
経常収支比率	101.1		98.2	99.3
医業収支比率	81.1		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	26.4		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	34.5		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	26.4		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	74.4		86.0	89.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	12,006,542
1 固定資産	8,983,518
(1) 有形固定資産	8,436,048
(2) 無形固定資産	483
(3) 投資その他の資産	546,987
2 流動資産	3,023,024
(1) 現金及び預金	951,636
(2) 未収金及び未収収益	2,115,702
(3) 貸倒引当金（ ）	115,185
(4) 貯蔵品	63,541
3 繰延資産	-
負債合計	7,071,323
1 固定負債	4,720,194
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,297,424
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,220,296
(7) リース債務	202,474
2 流動負債	2,118,636
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	543,135
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	402,027
(6) リース債務	165,123
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	952,426
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	232,493
(1) 長期前受金	708,617
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	476,124
資本合計	4,935,219
1 資本金	6,074,674
2 剰余金	-1,139,455
(1) 資本剰余金	175,111
(2) 利益剰余金	-1,314,566
負債・資本合計	12,006,542
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,473,399	3,418,267
資本勘定繰入	572,072	50,500
計	2,045,471	3,468,767

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	13.3
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	浜松市
				病院名	浜松医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	43,420 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	34	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	600	86.4	86.3	85.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	606	85.6	85.5	84.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	14.0	13.8

設立団体の状況		
人口(人)	797,980	
決算規模(千円)	328,646,519	
標準財政規模(千円)	212,828,384	
財政力指数	0.88	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,990,721			
1 経常収益	2,990,708			
(1) 医業収益	266,340			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	266,340			
(うち他会計負担金)	266,340			
(2) 医業外収益	2,724,368			
(うち国・都道府県補助金)	80,019			
(うち他会計補助・負担金)	741,926			
(うち長期前受金戻入)	29,340			
(うち資本費繰入収益)	703,127			
(3) 特別利益	13			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,278,170			
2 経常費用	2,278,170			
(1) 医業費用	1,965,032			
職員給与費	8,277	3.1	56.0	49.8
材料費	-	-	24.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.8
減価償却費	989,753	371.6	9.2	8.3
経費	947,468	355.7	23.2	20.7
(うち委託料)	902,796	339.0	11.3	11.4
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	19,534	-	-	-
(2) 医業外費用	313,138			
(うち支払利息)	313,109	117.6	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	712,538			
純損益	712,551			
累積欠損金	-			
経常収支比率	131.3		98.2	99.5
医業収支比率	13.6		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	33.7		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	378.6		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	33.7		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	87.0		86.0	90.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	30,637,972
1 固定資産	26,480,636
(1) 有形固定資産	25,766,145
(2) 無形固定資産	4,929
(3) 投資その他の資産	709,562
2 流動資産	4,157,336
(1) 現金及び預金	3,016,240
(2) 未収金及び未収収益	1,131,606
(3) 貸倒引当金( )	1,665
(4) 貯蔵品	10,982
3 繰延資産	-
負債合計	19,000,664
1 固定負債	15,338,858
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,050,600
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	228,687
(7) リース債務	59,571
2 流動負債	2,445,132
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,375,174
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	47,402
(6) リース債務	10,360
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,005,659
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,216,674
(1) 長期前受金	2,585,439
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,368,765
資本合計	11,637,308
1 資本金	3,639,993
2 剰余金	7,997,315
(1) 資本金剰余金	3,747,499
(2) 利益剰余金	4,249,816
負債・資本合計	30,637,972
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	555,266	1,008,266
資本勘定繰入	703,127	703,127
計	1,258,393	1,711,393

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	浜松市
				病院名	浜松市リハビリテーション病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,397 m <sup>2</sup>	指定病院の状況			
診療科数	4	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	180	94.5	94.5	94.4
療養	45	96.6	96.2	97.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	225	94.9	94.8	94.9
平均在院日数(一般病床のみ)		46.1	48.5	48.1

設立団体の状況		
人口(人)	797,980	
決算規模(千円)	328,646,519	
標準財政規模(千円)	212,828,384	
財政力指数	0.88	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,703,953			
1 経常収益	3,703,925			
(1) 医業収益	3,287,701			
入院収益	2,857,356			
外来収益	327,931			
診療収入計	3,185,287			
その他医業収益	102,414			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	416,224			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	300,704			
(うち長期前受金戻入)	75,934			
(うち資本費繰入収益)	39,061			
(3) 特別利益	28			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,741,122			
2 経常費用	3,722,649			
(1) 医業費用	3,638,205			
職員給与費	7,711	0.2	56.0	59.3
材料費	-	-	24.1	19.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	282,488	8.6	9.2	10.3
経費	3,346,088	101.8	23.2	27.6
(うち委託料)	3,322,048	101.0	11.3	12.3
研究研修費	-			
資産減耗費	1,918			
(2) 医業外費用	84,444			
(うち支払利息)	78,541	2.4	1.6	1.7
(3) 特別損失	18,473			
損益				
経常損益	-18,724			
純損益	-37,169			
累積欠損金	293,012			
経常収支比率	99.5		98.2	96.7
医業収支比率	90.4		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	8.1		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	9.1		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	8.1		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	91.4		86.0	83.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	30,637,972
1 固定資産	26,480,636
(1) 有形固定資産	25,766,145
(2) 無形固定資産	4,929
(3) 投資その他の資産	709,562
2 流動資産	4,157,336
(1) 現金及び預金	3,016,240
(2) 未収金及び未収収益	1,131,606
(3) 貸倒引当金( )	1,665
(4) 貯蔵品	10,982
3 繰延資産	-
負債合計	19,000,664
1 固定負債	15,338,858
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,050,600
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	228,687
(7) リース債務	59,571
2 流動負債	2,445,132
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,375,174
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	47,402
(6) リース債務	10,360
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,005,659
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,216,674
(1) 長期前受金	2,585,439
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,368,765
資本合計	11,637,308
1 資本金	3,639,993
2 剰余金	7,997,315
(1) 資本金剰余金	3,747,499
(2) 利益剰余金	4,249,816
負債・資本合計	30,637,972
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.4
修正医業収支金額(千円)	3,287,701

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	300,704	300,704
資本勘定繰入	118,397	118,397
計	419,101	419,101

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	浜松市
				病院名	浜松市国民健康保険佐久間病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,517 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救感へ		
診療科数	7	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	36	75.6	84.3	93.2
療養	20	69.3	65.8	76.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	60	68.5	72.5	81.5
平均在院日数（一般病床のみ）		19.1	22.5	22.6

設立団体の状況		
人口（人）	797,980	
決算規模（千円）	328,646,519	
標準財政規模（千円）	212,828,384	
財政力指数	0.88	
経常収支比率（%）	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	6.5
	将来負担比率（%）	-

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,231,767			
1 経常収益	1,223,500			
(1) 医業収益	643,449			
入院収益	323,986			
外来収益	245,478			
診療収入計	569,464			
その他医業収益	73,985			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	580,051			
(うち国・都道府県補助金)	381			
(うち他会計補助・負担金)	531,594			
(うち長期前受金戻入)	23,806			
(うち資本費繰入収益)	20,473			
(3) 特別利益	8,267			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,223,467			
2 経常費用	1,205,172			
(1) 医業費用	1,163,701			
職員給与費	720,476	112.0	56.0	71.8
材料費	139,152	21.6	24.1	16.5
(うち薬品費)	104,678	16.3	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	22,744	3.5	11.1	5.6
減価償却費	58,353	9.1	9.2	12.2
経費	241,890	37.6	23.2	31.2
(うち委託料)	105,157	16.3	11.3	12.3
研究研修費	1,477			
資産減耗費	2,353			
(2) 医業外費用	41,471			
(うち支払利息)	7,323	1.1	1.6	1.9
(3) 特別損失	18,295			
損益				
経常損益	18,328			
純損益	8,300			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.5		98.2	97.1
医業収支比率	55.3		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	46.8		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	89.0		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	46.5		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	54.0		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	30,637,972
1 固定資産	26,480,636
(1) 有形固定資産	25,766,145
(2) 無形固定資産	4,929
(3) 投資その他の資産	709,562
2 流動資産	4,157,336
(1) 現金及び預金	3,016,240
(2) 未収金及び未収収益	1,131,606
(3) 貸倒引当金（ ）	1,665
(4) 貯蔵品	10,982
3 繰延資産	-
負債合計	19,000,664
1 固定負債	15,338,858
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,050,600
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	228,687
(7) リース債務	59,571
2 流動負債	2,445,132
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,375,174
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	47,402
(6) リース債務	10,360
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,005,659
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,216,674
(1) 長期前受金	2,585,439
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,368,765
資本合計	11,637,308
1 資本金	3,639,993
2 剰余金	7,997,315
(1) 資本金剰余金	3,747,499
(2) 利益剰余金	4,249,816
負債・資本合計	30,637,972
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	51.7
修正医業収支金額（千円）	602,064

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	548,185	572,979
資本勘定繰入	42,373	47,592
計	590,558	620,571

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	沼津市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	45,309 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
診療科数	24	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	387	71.7	66.0	65.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	387	71.7	66.0	65.6
平均在院日数（一般病床のみ）		12.7	12.8	12.4

設立団体の状況		
人口（人）	195,633	
決算規模（千円）	70,969,825	
標準財政規模（千円）	40,408,582	
財政力指数	0.96	
経常収支比率（%）	87.2	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	4.7
	将来負担比率（%）	29.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	81.6
修正医業収支金額（千円）	8,594,468

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,711,618			
1 経常収益	10,711,618			
(1) 医業収益	9,868,577			
入院収益	5,905,940			
外来収益	2,550,757			
診療収入計	8,456,697			
その他医業収益	1,411,880			
(うち他会計負担金)	1,274,109			
(2) 医業外収益	843,041			
(うち国・都道府県補助金)	40,669			
(うち他会計補助・負担金)	615,891			
(うち長期前受金戻入)	74,298			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,945,762			
2 経常費用	10,945,762			
(1) 医業費用	10,532,760			
職員給与費	5,392,738	54.6	56.0	57.1
材料費	2,411,502	24.4	24.1	23.9
(うち薬品費)	1,096,750	11.1	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,311,280	13.3	11.1	11.4
減価償却費	649,220	6.6	9.2	9.5
経費	2,017,854	20.4	23.2	22.0
(うち委託料)	963,367	9.8	11.3	10.8
研究研修費	26,157			
資産減耗費	35,289			
(2) 医業外費用	413,002			
(うち支払利息)	28,080	0.3	1.6	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-234,144			
純損益	-234,144			
累積欠損金	5,844,663			
経常収支比率	97.9		98.2	96.7
医業収支比率	93.7		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	17.6		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	19.2		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	17.6		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	80.6		86.0	85.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	10,865,624
1 固定資産	9,295,411
(1) 有形固定資産	9,106,902
(2) 無形固定資産	132,829
(3) 投資その他の資産	55,680
2 流動資産	1,570,213
(1) 現金及び預金	29,133
(2) 未収金及び未収収益	1,524,948
(3) 貸倒引当金（ ）	27,322
(4) 貯蔵品	21,229
3 繰延資産	-
負債合計	7,071,395
1 固定負債	4,582,329
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,546,325
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,036,004
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,162,113
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	531,851
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	288,900
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	69,000
(8) 未払金及び未払費用	1,229,200
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	326,953
(1) 長期前受金	1,076,453
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	749,500
資本合計	3,794,229
1 資本金	9,638,892
2 剰余金	-5,844,663
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-5,844,663
負債・資本合計	10,865,624
不良債務	60,049
実質資金不足額	60,049
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,290,000	1,890,000
資本勘定繰入	-	260,000
計	1,290,000	2,150,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	60,049	0.6
29年度	197,881	2.0
28年度	253,072	2.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	59.2
健全化法上の資金不足額（千円）	60,049
健全化法上の資金不足比率（%）	0.6
地財法上の資金不足額（千円）	60,049
地財法上の資金不足比率（%）	0.6

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	静岡県
	市町村・組合名	富士宮市
	病院名	富士宮市立病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	350	71.7	72.7	72.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	350	71.7	72.7	72.2
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	11.6	10.7

設立団体の状況		
人口(人)	130,770	
決算規模(千円)	42,064,494	
標準財政規模(千円)	26,133,571	
財政力指数	0.93	
経常収支比率(%)	85.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.8
	将来負担比率(%)	9.7

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	21,381 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 災地
診療科数	14	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.3
修正医業収支金額(千円)	7,667,612

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,532,254			
1 経常収益	8,532,254			
(1) 医業収益	7,951,177			
入院収益	4,652,250			
外来収益	2,871,225			
診療収入計	7,523,475			
その他医業収益	427,702			
(うち他会計負担金)	283,565			
(2) 医業外収益	581,077			
(うち国・都道府県補助金)	9,589			
(うち他会計補助・負担金)	523,420			
(うち長期前受金戻入)	4,367			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,653,281			
2 経常費用	9,642,301			
(1) 医業費用	9,210,166			
職員給与費	4,961,980	62.4	56.0	57.1
材料費	2,411,889	30.3	24.1	23.9
(うち薬品費)	1,629,188	20.5	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	782,226	9.8	11.1	11.4
減価償却費	594,373	7.5	9.2	9.5
経費	1,205,923	15.2	23.2	22.0
(うち委託料)	715,120	9.0	11.3	10.8
研究研修費	25,913			
資産減耗費	10,088			
(2) 医業外費用	432,135			
(うち支払利息)	187	-	1.6	1.6
(3) 特別損失	10,980			
損益				
経常損益	-1,110,047			
純損益	-1,121,027			
累積欠損金	3,867,970			
経常収支比率	88.5		98.2	96.7
医業収支比率	86.3		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.5		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	10.1		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	9.5		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	80.1		86.0	85.4

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,302,802
1 固定資産	8,136,084
(1) 有形固定資産	8,008,032
(2) 無形固定資産	2,652
(3) 投資その他の資産	125,400
2 流動資産	2,166,718
(1) 現金及び預金	930,602
(2) 未収金及び未収収益	1,198,665
(3) 貸倒引当金( )	9,395
(4) 貯蔵品	38,874
3 繰延資産	-
負債合計	2,921,184
1 固定負債	1,384,371
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,177,729
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	206,642
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,419,843
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	158,620
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	284,727
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	934,377
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	116,970
(1) 長期前受金	274,646
(2) 長期前受金収益化累計額( )	157,676
資本合計	7,381,618
1 資本金	10,676,723
2 剰余金	-3,295,105
(1) 資本金剰余金	313,712
(2) 利益剰余金	-3,608,817
負債・資本合計	10,302,802
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	806,985	806,985
資本勘定繰入	93,015	94,253
計	900,000	901,238

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	48.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度)	都道府県名	静岡県
	市町村・組合名	伊東市
	病院名	伊東市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	250	78.6	82.8	81.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	78.6	82.8	81.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	16.5	15.8

設立団体の状況		
人口(人)	68,345	
決算規模(千円)	26,262,697	
標準財政規模(千円)	15,334,200	
財政力指数	0.75	
経常収支比率(%)	86.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.1
	将来負担比率(%)	9.9

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	18,628 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 災地
診療科数	20	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	422,588			
1 経常収益	422,588			
(1) 医業収益	55,000			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	55,000			
(うち他会計負担金)	55,000			
(2) 医業外収益	367,588			
(うち国・都道府県補助金)	10,410			
(うち他会計補助・負担金)	233,979			
(うち長期前受金戻入)	16,183			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	391,753			
2 経常費用	391,753			
(1) 医業費用	335,097			
職員給与費	14,749	26.8	56.0	59.3
材料費	-	-	24.1	19.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	207,088	376.5	9.2	10.3
経費	113,229	205.9	23.2	27.6
(うち委託料)	109,173	198.5	11.3	12.3
研究研修費	-			
資産減耗費	31			
(2) 医業外費用	56,656			
(うち支払利息)	56,656	103.0	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	30,835			
純損益	30,835			
累積欠損金	1,028,857			
経常収支比率	107.9		98.2	96.7
医業収支比率	16.4		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	68.4		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	525.4		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	68.4		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	34.1		86.0	83.4

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,781,066
1 固定資産	5,471,288
(1) 有形固定資産	5,230,213
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	241,075
2 流動資産	1,309,778
(1) 現金及び預金	1,188,709
(2) 未収金及び未収収益	101,369
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,271,723
1 固定負債	3,535,306
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,535,306
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	180,203
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	157,264
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,356
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	21,562
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	556,214
(1) 長期前受金	644,155
(2) 長期前受金収益化累計額( )	87,941
資本合計	2,509,343
1 資本金	3,277,640
2 剰余金	-768,297
(1) 資本金剰余金	260,560
(2) 利益剰余金	-1,028,857
負債・資本合計	6,781,066
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	83,657	288,979
資本勘定繰入	79,021	79,021
計	162,678	368,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1870.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	島田市
				病院名	島田市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,894 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感災地輪		
診療科数	22	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	467	78.5	84.9	85.4
療養	35	63.1	73.0	72.9
結核	8	2.1	12.7	17.5
精神	20	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	536	72.5	78.9	79.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.9	14.0	13.9

設立団体の状況		
人口(人)	98,112	
決算規模(千円)	36,810,911	
標準財政規模(千円)	21,952,141	
財政力指数	0.75	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.4
修正医業収支金額(千円)	10,990,166

損益計算書 (千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	11,919,615				
1 経常収益	11,919,615				
(1) 医業収益	11,076,533				
入院収益	6,737,631				
外来収益	3,902,138				
診療収入計	10,639,769				
その他医業収益	436,764				
(うち他会計負担金)	86,367				
(2) 医業外収益	843,082				
(うち国・都道府県補助金)	20,886				
(うち他会計補助・負担金)	547,687				
(うち長期前受金戻入)	19,059				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	12,996,601				
2 経常費用	12,996,601				
(1) 医業費用	12,295,263				
職員給与費	6,684,366	60.3	56.0	49.8	
材料費	3,088,835	27.9	24.1	28.0	
(うち薬品費)	1,891,113	17.1	12.6	14.8	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,196,908	10.8	11.1	12.8	
減価償却費	758,750	6.9	9.2	8.3	
経費	1,621,894	14.6	23.2	20.7	
(うち委託料)	890,285	8.0	11.3	11.4	
研究研修費	54,310				
資産減耗費	87,108				
(2) 医業外費用	701,338				
(うち支払利息)	20,170	0.2	1.6	1.4	
(3) 特別損失	-				
損益					
経常損益	-1,076,986				
純損益	-1,076,986				
累積欠損金	8,359,201				
経常収支比率	91.7		98.2	99.5	
医業収支比率	90.1		88.3	92.8	
他会計繰入金対経常収益比率	5.3		12.5	9.1	
他会計繰入金対医業収益比率	5.7		14.6	10.3	
他会計繰入金対総収益比率	5.3		12.5	9.0	
実質収益対経常費用比率	86.8		86.0	90.4	

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,584,943
1 固定資産	10,890,900
(1) 有形固定資産	10,637,093
(2) 無形固定資産	4,436
(3) 投資その他の資産	249,371
2 流動資産	6,694,043
(1) 現金及び預金	4,362,069
(2) 未収金及び未収収益	2,252,926
(3) 貸倒引当金( )	14,102
(4) 貯蔵品	89,092
3 繰延資産	-
負債合計	8,731,228
1 固定負債	5,725,669
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,647,604
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,078,065
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,845,246
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	407,259
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	454,953
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,975,528
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	160,313
(1) 長期前受金	667,871
(2) 長期前受金収益化累計額( )	507,558
資本合計	8,853,715
1 資本金	17,174,532
2 剰余金	-8,320,817
(1) 資本剰余金	37,614
(2) 利益剰余金	-8,358,431
負債・資本合計	17,584,943
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	634,054	634,054
資本勘定繰入	612,586	612,586
計	1,246,640	1,246,640

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	75.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	富士市
				病院名	中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,989 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
診療科数	22	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	504	86.7	87.5	88.5
療養	-	-	-	-
結核	10	6.5	6.0	5.9
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	520	84.2	84.9	85.9
平均在院日数（一般病床のみ）		12.8	12.7	12.9

設立団体の状況		
人口（人）	248,399	
決算規模（千円）	85,623,546	
標準財政規模（千円）	50,132,822	
財政力指数	1.00	
経常収支比率（%）	84.2	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	3.1
	将来負担比率（%）	51.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	89.5
修正医業収支金額（千円）	12,689,021

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,585,222			
1 経常収益	14,585,222			
(1) 医業収益	13,206,636			
入院収益	9,044,970			
外来収益	3,446,105			
診療収入計	12,491,075			
その他医業収益	715,561			
(うち他会計負担金)	517,615			
(2) 医業外収益	1,378,586			
(うち国・都道府県補助金)	42,330			
(うち他会計補助・負担金)	1,150,442			
(うち長期前受金戻入)	34,973			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,684,670			
2 経常費用	14,684,670			
(1) 医業費用	14,171,748			
職員給与費	7,864,258	59.5	56.0	49.8
材料費	3,417,953	25.9	24.1	28.0
(うち薬品費)	1,939,565	14.7	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,478,388	11.2	11.1	12.8
減価償却費	699,342	5.3	9.2	8.3
経費	2,073,112	15.7	23.2	20.7
(うち委託料)	1,151,966	8.7	11.3	11.4
研究研修費	46,040			
資産減耗費	71,043			
(2) 医業外費用	512,922			
(うち支払利息)	16,686	0.1	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-99,448			
純損益	-99,448			
累積欠損金	4,521,752			
経常収支比率	99.3		98.2	99.5
医業収支比率	93.2		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	12.6		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	11.4		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	88.0		86.0	90.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	11,021,548
1 固定資産	7,374,677
(1) 有形固定資産	7,367,050
(2) 無形固定資産	7,607
(3) 投資その他の資産	20
2 流動資産	3,646,871
(1) 現金及び預金	1,453,278
(2) 未収金及び未収収益	2,159,013
(3) 貸倒引当金（ ）	25,768
(4) 貯蔵品	43,699
3 繰延資産	-
負債合計	7,749,016
1 固定負債	5,028,005
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,862,844
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,165,161
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,433,022
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	659,781
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	488,896
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,234,898
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	287,989
(1) 長期前受金	1,087,143
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	799,154
資本合計	3,272,532
1 資本金	7,181,594
2 剰余金	-3,909,062
(1) 資本剰余金	329,090
(2) 利益剰余金	-4,238,152
負債・資本合計	11,021,548
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,360,057	1,668,057
資本勘定繰入	233,918	233,918
計	1,593,975	1,901,975

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	34.2
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	磐田市
				病院名	磐田市立総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	42,474 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	33	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	498	88.2	89.7	89.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	500	87.9	89.4	89.1
平均在院日数（一般病床のみ）		12.5	13.1	13.0

設立団体の状況		
人口（人）	167,210	
決算規模（千円）	63,970,904	
標準財政規模（千円）	38,391,104	
財政力指数	0.85	
経常収支比率（%）	85.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	5.1
	将来負担比率（%）	0.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	96.3
修正医業収支金額（千円）	15,014,236

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,935,565			
1 経常収益	15,909,109			
(1) 医業収益	15,276,414			
入院収益	9,833,701			
外来収益	4,549,386			
診療収入計	14,383,087			
その他医業収益	893,327			
(うち他会計負担金)	262,178			
(2) 医業外収益	632,695			
(うち国・都道府県補助金)	53,518			
(うち他会計補助・負担金)	413,613			
(うち長期前受金戻入)	54,694			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	26,456			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,467,505			
2 経常費用	16,362,213			
(1) 医業費用	15,584,681			
職員給与費	8,476,447	55.5	56.0	49.8
材料費	3,320,169	21.7	24.1	28.0
(うち薬品費)	1,868,947	12.2	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,449,366	9.5	11.1	12.8
減価償却費	860,701	5.6	9.2	8.3
経費	2,815,057	18.4	23.2	20.7
(うち委託料)	1,702,795	11.1	11.3	11.4
研究研修費	56,316			
資産減耗費	55,991			
(2) 医業外費用	777,532			
(うち支払利息)	257,357	1.7	1.6	1.4
(3) 特別損失	105,292			
損益				
経常損益	-453,104			
純損益	-531,940			
累積欠損金	14,980,437			
経常収支比率	97.2		98.2	99.5
医業収支比率	98.0		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	4.2		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	4.4		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	4.2		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	93.1		86.0	90.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	17,363,299
1 固定資産	14,027,089
(1) 有形固定資産	13,770,197
(2) 無形固定資産	4,647
(3) 投資その他の資産	252,245
2 流動資産	3,336,210
(1) 現金及び預金	928,647
(2) 未収金及び未収収益	2,347,476
(3) 貸倒引当金（ ）	17,175
(4) 貯蔵品	66,700
3 繰延資産	-
負債合計	15,088,821
1 固定負債	11,370,301
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,317,301
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,053,000
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,908,329
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,350,719
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	488,731
(6) リース債務	142
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,068,537
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	810,191
(1) 長期前受金	1,820,803
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,010,612
資本合計	2,274,478
1 資本金	17,254,915
2 剰余金	-14,980,437
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-14,980,437
負債・資本合計	17,363,299
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,175,041	675,791
資本勘定繰入	939,767	889,196
計	2,114,808	1,564,987

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	98.1
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	静岡県
	市町村・組合名	焼津市
	病院名	焼津市立総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	33,157 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 災地 輪
診療科数	28	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	471	83.8	86.7	85.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	471	83.8	86.7	85.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.2	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	139,462	
決算規模(千円)	50,728,760	
標準財政規模(千円)	27,298,834	
財政力指数	0.90	
経常収支比率(%)	87.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.7
	将来負担比率(%)	2.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.0
修正医業収支金額(千円)	11,237,356

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,405,525			
1 経常収益	12,405,525			
(1) 医業収益	11,552,737			
入院収益	7,921,702			
外来収益	3,025,582			
診療収入計	10,947,284			
その他医業収益	605,453			
(うち他会計負担金)	315,381			
(2) 医業外収益	852,788			
(うち国・都道府県補助金)	41,581			
(うち他会計補助・負担金)	643,010			
(うち長期前受金戻入)	57,273			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,579,309			
2 経常費用	12,579,309			
(1) 医業費用	12,083,848			
職員給与費	7,066,633	61.2	56.0	54.1
材料費	2,505,114	21.7	24.1	26.3
(うち薬品費)	1,228,863	10.6	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,200,096	10.4	11.1	12.3
減価償却費	517,896	4.5	9.2	8.3
経費	1,890,871	16.4	23.2	19.0
(うち委託料)	930,987	8.1	11.3	9.1
研究研修費	42,144			
資産減耗費	61,190			
(2) 医業外費用	495,461			
(うち支払利息)	13,339	0.1	1.6	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-173,784			
純損益	-173,784			
累積欠損金	8,385,637			
経常収支比率	98.6		98.2	99.3
医業収支比率	95.6		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	8.3		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	7.7		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	91.0		86.0	89.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,407,026
1 固定資産	7,553,881
(1) 有形固定資産	7,037,220
(2) 無形固定資産	9,691
(3) 投資その他の資産	506,970
2 流動資産	5,853,145
(1) 現金及び預金	3,946,498
(2) 未収金及び未収収益	1,857,677
(3) 貸倒引当金( )	2,211
(4) 貯蔵品	41,181
3 繰延資産	-
負債合計	9,103,886
1 固定負債	5,632,240
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,394,977
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,237,263
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,153,059
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	474,775
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	407,198
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,214,279
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	318,587
(1) 長期前受金	957,439
(2) 長期前受金収益化累計額( )	638,852
資本合計	4,303,140
1 資本金	12,688,777
2 剰余金	-8,385,637
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-8,385,637
負債・資本合計	13,407,026
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	837,021	958,391
資本勘定繰入	301,189	351,189
計	1,138,210	1,309,580

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	72.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度 )				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	藤枝市
				病院名	藤枝市立総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	50,492 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	35	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	564	84.2	85.7	83.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	564	84.2	85.7	83.2
平均在院日数（一般病床のみ）		13.3	13.4	13.8

設立団体の状況		
人口（人）	143,605	
決算規模（千円）	51,074,829	
標準財政規模（千円）	28,441,644	
財政力指数	0.88	
経常収支比率（%）	84.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.3
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	98.6
修正医業収支金額（千円）	16,374,310

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,891,084			
1 経常収益	17,891,084			
(1) 医業収益	17,023,210			
入院収益	10,362,212			
外来収益	5,605,431			
診療収入計	15,967,643			
その他医業収益	1,055,567			
(うち他会計負担金)	648,900			
(2) 医業外収益	867,874			
(うち国・都道府県補助金)	57,010			
(うち他会計補助・負担金)	667,100			
(うち長期前受金戻入)	60,936			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,701,546			
2 経常費用	17,701,546			
(1) 医業費用	16,599,567			
職員給与費	8,864,226	52.1	56.0	49.8
材料費	4,522,245	26.6	24.1	28.0
(うち薬品費)	2,994,489	17.6	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,434,505	8.4	11.1	12.8
減価償却費	825,541	4.8	9.2	8.3
経費	2,308,701	13.6	23.2	20.7
(うち委託料)	1,415,214	8.3	11.3	11.4
研究研修費	56,485			
資産減耗費	22,369			
(2) 医業外費用	1,101,979			
(うち支払利息)	316,165	1.9	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	189,538			
純損益	189,538			
累積欠損金	15,642,754			
経常収支比率	101.1		98.2	99.5
医業収支比率	102.6		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.4		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	7.7		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	7.4		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	93.6		86.0	90.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	17,528,976
1 固定資産	14,455,905
(1) 有形固定資産	13,885,871
(2) 無形固定資産	8,247
(3) 投資その他の資産	561,787
2 流動資産	3,041,591
(1) 現金及び預金	207,334
(2) 未収金及び未収収益	2,765,450
(3) 貸倒引当金（ ）	4,212
(4) 貯蔵品	69,296
3 繰延資産	31,480
負債合計	15,377,071
1 固定負債	11,015,212
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,395,611
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,820,000
(6) 引当金	2,728,215
(7) リース債務	71,386
2 流動負債	3,497,770
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,399,945
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	40,000
(5) 引当金	553,925
(6) リース債務	91,132
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	1,237,813
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	864,089
(1) 長期前受金	2,471,300
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,607,211
資本合計	2,151,905
1 資本金	17,786,263
2 剰余金	-15,634,358
(1) 資本剰余金	8,396
(2) 利益剰余金	-15,642,754
負債・資本合計	17,528,976
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,489,400	1,316,000
資本勘定繰入	842,200	644,000
計	2,331,600	1,960,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	91.9
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	静岡県
	市町村・組合名	袋井市
	病院名	袋井市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	85,789	
決算規模(千円)	32,954,760	
標準財政規模(千円)	19,129,682	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	49.6

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	81.3
材料費	-	-	24.1	14.4
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.1
減価償却費	-	-	9.2	13.4
経費	-	-	23.2	47.5
(うち委託料)	-	-	11.3	20.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		98.2	96.3
医業収支比率	-		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	-		86.0	64.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度)	都道府県名	静岡県
	市町村・組合名	袋井市
	病院名	聖隷袋井市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（％・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	100	78.2	74.0	60.9
療養	50	86.7	87.4	74.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	81.1	78.5	65.3
平均在院日数（一般病床のみ）		45.9	50.1	42.0

設立団体の状況		
人口（人）	85,789	
決算規模（千円）	32,954,760	
標準財政規模（千円）	19,129,682	
財政力指数	0.89	
経常収支比率（％）	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（％）	-
	連結実質赤字比率（％）	-
	実質公債費比率（％）	8.4
	将来負担比率（％）	49.6

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,399 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	4	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上～200床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（％）	82.3
修正医業収支金額（千円）	1,298,030

損益計算書（千円・％）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,657,283			
1 経常収益	1,655,375			
(1) 医業収益	1,298,030			
入院収益	1,154,480			
外来収益	96,896			
診療収入計	1,251,376			
その他医業収益	46,654			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	357,345			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	280,198			
(うち長期前受金戻入)	9,600			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,908			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,619,161			
2 経常費用	1,615,457			
(1) 医業費用	1,578,106			
職員給与費	8,823	0.7	56.0	61.8
材料費	-	-	24.1	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.2
減価償却費	95,595	7.4	9.2	10.4
経費	1,473,687	113.5	23.2	29.9
(うち委託料)	8,338	0.6	11.3	12.9
研究研修費	-			
資産減耗費	1			
(2) 医業外費用	37,351			
(うち支払利息)	2,487	0.2	1.6	1.7
(3) 特別損失	3,704			
損益				
経常損益	39,918			
純損益	38,122			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.5		98.2	96.7
医業収支比率	82.3		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	16.9		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	21.6		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	16.9		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	85.1		86.0	80.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・％）	
区分	決算額
資産合計	1,855,065
1 固定資産	1,372,643
(1) 有形固定資産	1,299,231
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	73,412
2 流動資産	482,422
(1) 現金及び預金	281,793
(2) 未収金及び未収収益	203,629
(3) 貸倒引当金（ ）	3,000
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,528,865
1 固定負債	815,961
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	813,950
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,011
(7) リース債務	-
2 流動負債	483,566
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	170,985
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	743
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	311,838
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	229,338
(1) 長期前受金	296,087
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	66,749
資本合計	326,200
1 資本金	195,000
2 剰余金	131,200
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	131,200
負債・資本合計	1,855,065
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,243	280,198
資本勘定繰入	75,232	70,000
計	76,475	350,198

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（％）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（％）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（％）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（％）	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	静岡県
	市町村・組合名	湖西市
	病院名	市立湖西病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,962 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	22	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	196	36.5	38.9	43.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	196	36.5	38.9	43.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	13.4	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	59,789	
決算規模(千円)	19,961,576	
標準財政規模(千円)	13,813,539	
財政力指数	1.03	
経常収支比率(%)	86.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.6
	将来負担比率(%)	20.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.2
修正医業収支金額(千円)	2,348,988

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,400,040			
1 経常収益	3,394,689			
(1) 医業収益	2,517,692			
入院収益	1,016,960			
外来収益	1,017,629			
診療収入計	2,034,589			
その他医業収益	483,103			
(うち他会計負担金)	168,704			
(2) 医業外収益	876,997			
(うち国・都道府県補助金)	35			
(うち他会計補助・負担金)	761,962			
(うち長期前受金戻入)	103,839			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,351			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,310,121			
2 経常費用	3,307,526			
(1) 医業費用	3,164,188			
職員給与費	1,575,131	62.6	56.0	61.8
材料費	439,937	17.5	24.1	17.7
(うち薬品費)	238,162	9.5	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	201,085	8.0	11.1	8.2
減価償却費	199,185	7.9	9.2	10.4
経費	938,010	37.3	23.2	29.9
(うち委託料)	451,560	17.9	11.3	12.9
研究研修費	4,715			
資産減耗費	7,210			
(2) 医業外費用	143,338			
(うち支払利息)	17,239	0.7	1.6	1.7
(3) 特別損失	2,595			
損益				
経常損益	87,163			
純損益	89,919			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.6		98.2	96.7
医業収支比率	79.6		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	27.4		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	37.0		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	27.4		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	74.5		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,070,310
1 固定資産	3,510,883
(1) 有形固定資産	3,466,625
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	44,258
2 流動資産	559,427
(1) 現金及び預金	233,686
(2) 未収金及び未収収益	297,939
(3) 貸倒引当金( )	1,078
(4) 貯蔵品	25,274
3 繰延資産	-
負債合計	2,094,403
1 固定負債	682,053
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	585,186
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	49,437
(7) リース債務	47,430
2 流動負債	435,253
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	110,199
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	115,650
(6) リース債務	46,620
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	159,453
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	977,097
(1) 長期前受金	2,933,501
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,956,404
資本合計	1,975,907
1 資本金	1,622,323
2 剰余金	353,584
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	353,584
負債・資本合計	4,070,310
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	330,666	930,666
資本勘定繰入	184,510	184,510
計	515,176	1,115,176

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	静岡県
	市町村・組合名	御前崎市
	病院名	市立御前崎総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	19,523 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨
診療科数	15	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	145	75.4	68.1	65.5
療養	54	87.7	89.3	90.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	78.7	73.8	72.2
平均在院日数(一般病床のみ)		33.5	28.2	29.2

設立団体の状況		
人口(人)	32,578	
決算規模(千円)	16,708,483	
標準財政規模(千円)	9,009,061	
財政力指数	1.00	
経常収支比率(%)	85.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-0.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,165,727			
1 経常収益	5,164,671			
(1) 医業収益	3,515,243			
入院収益	1,901,578			
外来収益	1,282,468			
診療収入計	3,184,046			
その他医業収益	331,197			
(うち他会計負担金)	87,400			
(2) 医業外収益	1,649,428			
(うち国・都道府県補助金)	443			
(うち他会計補助・負担金)	1,192,993			
(うち長期前受金戻入)	107,845			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,056			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,128,756			
2 経常費用	5,112,760			
(1) 医業費用	4,515,975			
職員給与費	2,363,578	67.2	56.0	61.8
材料費	715,998	20.4	24.1	17.7
(うち薬品費)	504,782	14.4	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	210,003	6.0	11.1	8.2
減価償却費	419,384	11.9	9.2	10.4
経費	995,882	28.3	23.2	29.9
(うち委託料)	544,638	15.5	11.3	12.9
研究研修費	19,357			
資産減耗費	1,776			
(2) 医業外費用	596,785			
(うち支払利息)	2,080	0.1	1.6	1.7
(3) 特別損失	15,996			
損益				
経常損益	51,911			
純損益	36,971			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.0		98.2	96.7
医業収支比率	77.8		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	24.8		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	36.4		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	24.8		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	76.0		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,247,058
1 固定資産	5,219,870
(1) 有形固定資産	5,010,377
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	209,493
2 流動資産	2,027,188
(1) 現金及び預金	1,184,859
(2) 未収金及び未収収益	787,751
(3) 貸倒引当金( )	2,549
(4) 貯蔵品	52,797
3 繰延資産	-
負債合計	2,398,456
1 固定負債	715,876
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	639,200
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	76,676
(7) リース債務	-
2 流動負債	446,717
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	154,200
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	270,336
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,235,863
(1) 長期前受金	4,460,594
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,224,731
資本合計	4,848,602
1 資本金	4,359,421
2 剰余金	489,181
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	489,181
負債・資本合計	7,247,058
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.9
修正医業収支金額(千円)	3,427,843

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	399,880	1,280,393
資本勘定繰入	115,830	115,830
計	515,710	1,396,223

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	静岡県
	市町村・組合名	菊川市
	病院名	菊川市立総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	17,452 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	15	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	202	80.0	80.9	80.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	58	55.0	52.3	54.8
感染症	-	-	-	-
計	260	74.4	74.5	75.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.2	14.8	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	46,763	
決算規模(千円)	18,708,545	
標準財政規模(千円)	11,340,447	
財政力指数	0.76	
経常収支比率(%)	90.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	15.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.6
修正医業収支金額(千円)	4,642,071

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,515,165			
1 経常収益	5,515,165			
(1) 医業収益	4,781,688			
入院収益	3,053,014			
外来収益	1,287,185			
診療収入計	4,340,199			
その他医業収益	441,489			
(うち他会計負担金)	139,617			
(2) 医業外収益	733,477			
(うち国・都道府県補助金)	462			
(うち他会計補助・負担金)	655,231			
(うち長期前受金戻入)	33,729			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,579,244			
2 経常費用	5,545,103			
(1) 医業費用	5,238,768			
職員給与費	3,080,559	64.4	56.0	59.3
材料費	738,119	15.4	24.1	19.3
(うち薬品費)	290,784	6.1	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	403,976	8.4	11.1	9.2
減価償却費	313,933	6.6	9.2	10.3
経費	1,080,193	22.6	23.2	27.6
(うち委託料)	610,143	12.8	11.3	12.3
研究研修費	21,181			
資産減耗費	4,783			
(2) 医業外費用	306,335			
(うち支払利息)	97,151	2.0	1.6	1.7
(3) 特別損失	34,141			
損益				
経常損益	-29,938			
純損益	-64,079			
累積欠損金	3,913,591			
経常収支比率	99.5		98.2	96.7
医業収支比率	91.3		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	14.4		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	16.6		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	14.4		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	85.1		86.0	83.4

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,520,369
1 固定資産	5,723,320
(1) 有形固定資産	5,578,294
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	145,026
2 流動資産	797,049
(1) 現金及び預金	46,503
(2) 未収金及び未収収益	732,282
(3) 貸倒引当金( )	1,613
(4) 貯蔵品	19,877
3 繰延資産	-
負債合計	5,665,580
1 固定負債	3,952,848
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,893,141
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	59,707
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,117,623
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	630,233
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	183,100
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	60,000
(8) 未払金及び未払費用	221,797
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	595,109
(1) 長期前受金	1,279,603
(2) 長期前受金収益化累計額( )	684,494
資本合計	854,789
1 資本金	4,768,380
2 剰余金	-3,913,591
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,913,591
負債・資本合計	6,520,369
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	609,260	794,848
資本勘定繰入	363,390	244,843
計	972,650	1,039,691

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	81.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	静岡県
	市町村・組合名	森町
	病院名	公立森町病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	131	84.7	90.8	93.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	131	84.7	90.8	93.3
平均在院日数(一般病床のみ)		25.7	27.9	24.3

設立団体の状況		
人口(人)	18,528	
決算規模(千円)	7,537,090	
標準財政規模(千円)	5,044,693	
財政力指数	0.59	
経常収支比率(%)	87.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	56.3

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	9,766 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	13	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.0
修正医業収支金額(千円)	2,358,569

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,794,896			
1 経常収益	2,783,535			
(1) 医業収益	2,366,601			
入院収益	1,501,555			
外来収益	708,834			
診療収入計	2,210,389			
その他医業収益	156,212			
(うち他会計負担金)	8,032			
(2) 医業外収益	416,934			
(うち国・都道府県補助金)	523			
(うち他会計補助・負担金)	310,915			
(うち長期前受金戻入)	16,798			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11,361			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,806,189			
2 経常費用	2,793,583			
(1) 医業費用	2,592,767			
職員給与費	1,584,385	66.9	56.0	61.8
材料費	260,423	11.0	24.1	17.7
(うち薬品費)	152,116	6.4	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	108,307	4.6	11.1	8.2
減価償却費	141,972	6.0	9.2	10.4
経費	594,158	25.1	23.2	29.9
(うち委託料)	349,879	14.8	11.3	12.9
研究研修費	5,405			
資産減耗費	6,424			
(2) 医業外費用	200,816			
(うち支払利息)	58,590	2.5	1.6	1.7
(3) 特別損失	12,606			
経常損益	-10,048			
純損益	-11,293			
累積欠損金	3,063,010			
経常収支比率	99.6		98.2	96.7
医業収支比率	91.3		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	11.5		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	13.5		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	11.4		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	88.2		86.0	80.7

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,653,953
1 固定資産	3,086,030
(1) 有形固定資産	3,085,145
(2) 無形固定資産	885
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	567,923
(1) 現金及び預金	154,044
(2) 未収金及び未収収益	407,865
(3) 貸倒引当金( )	5,263
(4) 貯蔵品	11,277
3 繰延資産	-
負債合計	2,947,992
1 固定負債	1,935,514
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,896,875
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	38,639
(7) リース債務	-
2 流動負債	601,050
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	240,571
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	112,082
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	238,648
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	411,428
(1) 長期前受金	711,626
(2) 長期前受金収益化累計額( )	300,198
資本合計	705,961
1 資本金	3,768,971
2 剰余金	-3,063,010
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,063,010
負債・資本合計	3,653,953
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	345,963	318,947
資本勘定繰入	183,071	181,053
計	529,034	500,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	129.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	静岡県
	市町村・組合名	共立蒲原総合病院組合(事業会計分)
	病院名	共立蒲原総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	21,651 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	21	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	175	66.3	62.9	62.6
療養	92	97.0	98.0	98.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	267	76.9	75.0	74.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	12.5	13.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.2
修正医業収支金額(千円)	3,406,256

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,167,948			
1 経常収益	5,167,948			
(1) 医業収益	3,650,239			
入院収益	2,420,408			
外来収益	910,556			
診療収入計	3,330,964			
その他医業収益	319,275			
(うち他会計負担金)	243,983			
(2) 医業外収益	1,517,709			
(うち国・都道府県補助金)	422			
(うち他会計補助・負担金)	774,116			
(うち長期前受金戻入)	30,822			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,167,948			
2 経常費用	5,167,948			
(1) 医業費用	4,298,793			
職員給与費	2,829,839	77.5	56.0	59.3
材料費	442,922	12.1	24.1	19.3
(うち薬品費)	199,973	5.5	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	242,949	6.7	11.1	9.2
減価償却費	406,675	11.1	9.2	10.3
経費	598,909	16.4	23.2	27.6
(うち委託料)	330,009	9.0	11.3	12.3
研究研修費	10,977			
資産減耗費	9,471			
(2) 医業外費用	869,155			
(うち支払利息)	52,586	1.4	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	84.9		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	19.7		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	27.9		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	19.7		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	80.3		86.0	83.4

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,567,477
1 固定資産	4,904,531
(1) 有形固定資産	4,489,299
(2) 無形固定資産	343,147
(3) 投資その他の資産	72,085
2 流動資産	1,662,946
(1) 現金及び預金	593,547
(2) 未収金及び未収収益	1,038,165
(3) 貸倒引当金( )	1,441
(4) 貯蔵品	29,543
3 繰延資産	-
負債合計	2,582,632
1 固定負債	1,502,708
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,498,115
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	4,593
2 流動負債	759,061
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	290,993
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	194,678
(6) リース債務	2,346
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	237,430
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	320,863
(1) 長期前受金	1,313,977
(2) 長期前受金収益化累計額( )	993,114
資本合計	3,984,845
1 資本金	3,866,315
2 剰余金	118,530
(1) 資本金剰余金	35,530
(2) 利益剰余金	83,000
負債・資本合計	6,567,477
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	649,381	1,018,099
資本勘定繰入	203,696	-
計	853,077	1,018,099

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	静岡県
	市町村・組合名	榛原総合病院組合(事業会計分)
	病院名	榛原総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	37,565 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	24	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	355	50.2	41.1	40.1
療養	42	99.5	100.1	99.4
結核	-	-	-	-
精神	53	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	450	48.9	41.8	40.9
平均在院日数(一般病床のみ)		17.2	15.4	16.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	1.9
修正医業収支金額(千円)	19,526

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,038,540			
1 経常収益	1,038,540			
(1) 医業収益	147,705			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	147,705			
(うち他会計負担金)	128,179			
(2) 医業外収益	890,835			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	697,082			
(うち長期前受金戻入)	56,268			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,264,941			
2 経常費用	1,264,941			
(1) 医業費用	1,004,894			
職員給与費	29,146	19.7	56.0	54.1
材料費	-	-	24.1	26.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.3
減価償却費	467,510	316.5	9.2	8.3
経費	492,111	333.2	23.2	19.0
(うち委託料)	54,030	36.6	11.3	9.1
研究研修費	218			
資産減耗費	15,909			
(2) 医業外費用	260,047			
(うち支払利息)	179,544	121.6	1.6	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-226,401			
純損益	-226,401			
累積欠損金	13,360,953			
経常収支比率	82.1		98.2	99.3
医業収支比率	14.7		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	79.5		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	558.7		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	79.5		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	16.9		86.0	89.4

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,862,990
1 固定資産	8,521,332
(1) 有形固定資産	8,291,106
(2) 無形固定資産	4,893
(3) 投資その他の資産	225,333
2 流動資産	341,658
(1) 現金及び預金	325,435
(2) 未収金及び未収収益	13,223
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	9,474,054
1 固定負債	8,166,603
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,619,605
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	546,998
2 流動負債	586,321
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	525,038
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,180
(6) リース債務	29,376
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,727
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	721,130
(1) 長期前受金	2,522,832
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,801,702
資本合計	-611,064
1 資本金	12,709,814
2 剰余金	-13,320,878
(1) 資本剰余金	40,075
(2) 利益剰余金	-13,360,953
負債・資本合計	8,862,990
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	611,064
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	366,499	825,261
資本勘定繰入	354,739	354,739
計	721,238	1,180,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9045.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	静岡県
	市町村・組合名	一部事務組合下田メディカルセンター(事業会計分)
	病院名	下田メディカルセンター

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,632 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 感 輪
診療科数	16	看護配置	7 : 1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区 分	病床数	30年度	29年度	28年度
一 般	140	60.4	60.0	57.3
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	4	0.1	-	-
計	144	58.8	58.4	55.8
平均在院日数(一般病床のみ)		9.9	9.7	12.2

設立団体の状況		
人 口(人)	-	
決 算 規 模(千円)	-	
標 準 財 政 規 模(千円)	-	
財 政 力 指 数	-	
経 常 収 支 比 率(%)	-	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	374,332			
1 経 常 収 益	374,332			
(1) 医 業 収 益	68,714			
入 院 収 益	-			
外 来 収 益	-			
診 療 収 入 計	-			
そ の 他 医 業 収 益	68,714			
(うち他会計負担金)	68,714			
(2) 医 業 外 収 益	305,618			
(うち国・都道府県補助金)	2,158			
(うち他会計補助・負担金)	154,237			
(うち長期前受金戻入)	46,812			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	393,878			
2 経 常 費 用	393,878			
(1) 医 業 費 用	340,926			
職 員 給 与 費	19,535	28.4	56.0	61.8
材 料 費	-	-	24.1	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.2
減 価 償 却 費	205,156	298.6	9.2	10.4
経 費	111,456	162.2	23.2	29.9
(うち委託料)	105,726	153.9	11.3	12.9
研 究 研 修 費	-			
資 産 減 耗 費	4,779			
(2) 医 業 外 費 用	52,952			
(うち支払利息)	43,217	62.9	1.6	1.7
(3) 特 別 損 失	-			
損 益				
経 常 損 益	-19,546			
純 損 益	-19,546			
累 積 欠 損 金	-			
経 常 収 支 比 率	95.0		98.2	96.7
医 業 収 支 比 率	20.2		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	59.6		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	324.5		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	59.6		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	38.4		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	5,957,323
1 固 定 資 産	5,403,887
(1) 有 形 固 定 資 産	5,244,657
(2) 無 形 固 定 資 産	54,955
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	104,275
2 流 動 資 産	553,436
(1) 現 金 及 び 預 金	416,119
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	137,307
(3) 貸 倒 引 当 金 ( )	-
(4) 貯 蔵 品	-
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	3,094,581
1 固 定 負 債	2,674,524
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,674,524
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 ( 特 例 債 含 む )	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	-
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	220,038
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	131,348
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	1,174
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	86,493
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	200,019
(1) 長 期 前 受 金	1,332,800
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ( )	1,132,781
資 本 合 計	2,862,742
1 資 本 金	899,312
2 剰 余 金	1,963,430
(1) 資 本 剰 余 金	1,663,826
(2) 利 益 剰 余 金	299,604
負 債 ・ 資 本 合 計	5,957,323
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ( )	-
資本不足額(繰延収益控除後) ( )	-
備 考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	122,302	222,951
資 本 勘 定 繰 入	65,559	31,640
計	187,861	254,591

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額(千円)	不 良 債 務 比 率(%)
30 年 度	-	-
29 年 度	-	-
28 年 度	-	-

資金不足等の状況	
累 積 欠 損 金 比 率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額(千円)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	静岡県
				市町村・組合名	掛川市・袋井市病院企業団
				病院名	掛川市・袋井市病院企業団 立中東遠総合医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	44,529 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感災地		
診療科数	33	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	496	87.5	90.1	89.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	18.0	7.1	6.7
計	500	86.9	89.5	88.5
平均在院日数（一般病床のみ）		10.0	10.5	10.7

設立団体の状況	
人口（人）	-
決算規模（千円）	-
標準財政規模（千円）	-
財政力指数	-
経常収支比率（%）	-
健全化判断比率	実質赤字比率（%）
	連結実質赤字比率（%）
	実質公債費比率（%）
	将来負担比率（%）

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	93.6
修正医業収支金額（千円）	14,995,990

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,903,674			
1 経常収益	16,894,562			
(1) 医業収益	15,325,054			
入院収益	10,025,803			
外来収益	4,178,524			
診療収入計	14,204,327			
その他医業収益	1,120,727			
(うち他会計負担金)	329,064			
(2) 医業外収益	1,569,508			
(うち国・都道府県補助金)	24,053			
(うち他会計補助・負担金)	885,207			
(うち長期前受金戻入)	564,649			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,112			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,927,838			
2 経常費用	16,795,536			
(1) 医業費用	16,029,840			
職員給与費	8,910,930	58.1	56.0	49.8
材料費	3,409,629	22.2	24.1	28.0
(うち薬品費)	1,472,291	9.6	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,933,586	12.6	11.1	12.8
減価償却費	1,441,297	9.4	9.2	8.3
経費	2,179,693	14.2	23.2	20.7
(うち委託料)	1,371,158	8.9	11.3	11.4
研究研修費	74,301			
資産減耗費	13,990			
(2) 医業外費用	765,696			
(うち支払利息)	240,135	1.6	1.6	1.4
(3) 特別損失	132,302			
損益				
経常損益	99,026			
純損益	-24,164			
累積欠損金	1,198,706			
経常収支比率	100.6		98.2	99.5
医業収支比率	95.6		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.2		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	7.9		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	7.2		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	93.4		86.0	90.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	20,019,969
1 固定資産	14,964,225
(1) 有形固定資産	14,591,473
(2) 無形固定資産	22,319
(3) 投資その他の資産	350,433
2 流動資産	5,055,744
(1) 現金及び預金	2,494,339
(2) 未収金及び未収収益	2,408,086
(3) 貸倒引当金（ ）	26,272
(4) 貯蔵品	157,569
3 繰延資産	-
負債合計	19,893,457
1 固定負債	16,762,593
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,452,291
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,138,255
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,801,518
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	883,052
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	543,529
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,320,457
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	329,346
(1) 長期前受金	3,081,556
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	2,752,210
資本合計	126,512
1 資本金	1,302,075
2 剰余金	-1,175,563
(1) 資本剰余金	23,143
(2) 利益剰余金	-1,198,706
負債・資本合計	20,019,969
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,043,838	1,214,271
資本勘定繰入	511,839	511,839
計	1,555,677	1,726,110

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	7.8
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。